

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月14日

事業所名 障害児通所支援事業所 ほりす

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			利用者の多い日には複数の部屋を利用し、適切に支援を行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	5			児童指導員等適切に配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			スロープを設置しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			すべての職員によりPDCAサイクルの作成と改善を行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			ニーズ調査アンケートを実施し、ご家族の意向等を把握し、改善を行っています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			法人ホームページに公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			5		現在第三者評価による外部評価は行っていません。今後検討していきたいと思っております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			内部・外部研修機会を多く設けています	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			法令に則り、計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			標準化されたアセスメントツールに加え、独自のツールを活用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			多くプログラムをチームで立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			SST・スポーツサポートプログラム・ヴィジョントレーニング・アート活動など	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			支援する時間や課題に応じてきめ細やかなプログラムを設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			発達に沿った支援の中、個性や特性にあった個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			支援開始前に職員相互に事前打ち合わせを実施し、目的や役割について共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			支援終了後に職員相互で支援の振り返りを実施し、情報共有をしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			日々の支援記録を正しく行い、検証改善につなげています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			法令に則り、計画の見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5			ガイドラインに沿った支援を行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			最も相応しい者がサービス担当者会議に参画しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			ご家族を含め、学校との連携を適切に行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			5		現在医療的ケアが必要な利用者は受け入れていませんが、医療的ケアが必要な場合は、主治医等と連携しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5				情報交換と相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5				支援する時間や課題に応じて、きめ細やかプログラムを設定しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5				発達障害者支援センターの方を講師とした研修会を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5				放課後児童クラブと場の統合を行っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5				積極的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				送迎時や面談機会、ノートなどを通して情報を今共有し、共通理解を持っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5				茶話会等を通じ、支援や相談を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				契約時に丁寧な説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				ご家族からの相談時には必要な助言と支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5				ご家族参加型のプログラムの立案や茶話会等を企画し支援しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				意見箱を設置すると共に苦情解決のための要綱を定め、苦情時には迅速かつ適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				月次で広報活動誌を発行し、またホームページで情報発信をしています。
	35	個人情報に十分注意している	5				個人情報についての取り扱いは十分に注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				連絡ノートの活用や情報機器を活用し、意思の疎通や情報伝達が出来よう配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			5		地域住民の方を招待することは現在行っていませんが、放課後児童クラブと場の統合を行っ

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			マニュアルを作成し、研修機会を設けています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			法令に則り実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			虐待研修を実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		5		現在やむを得ず身体拘束を行う利用者は利用していません。今後やむを得ない場合には、利用者、ご家族の了解を得て、個別支援計画に記載します。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5		必要に応じて医師の指示書に基づく対応を行います。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			ヒヤリハット事例を共有し、改善を行っています。	